

平成22年3月20日発行

第171号

発行/高円寺地域集会施設運営協議会
〒166-0011 杉並区梅里1-22-32
事務局 ☎3317-6614

セシオン杉並・和田区民集会所・高円寺北区民集会所

セシオン

高円寺地域区民センター報

ふれあい

http://www.sesion.jp/

高円寺地域集会施設運営協議会は、4月より **高円寺地域区民センター協議会** に変わります

わいわい わだまつり2010

日時 **4月24日(土) 10:00~14:00** (雨天実施)

会場 和田区民集会所、和田障害者交流館、和田小学校校庭

- ミニはしご車 (10:00~整理券配布 30名分)
- それいけ! アンパンマンふわふわ
- 苗木の無料配布 (緑の募金にご協力を)
- 備蓄倉庫見学
- クイックマッサージ
- 屋台村
- スタンプラリー
- わいわいゲーム館
- ステージショー
- メタボ測定
- お茶席 エコクラフト
- ジャグリング・バルーン

お願い
※マイバッグをご持参ください ※ゴミは各自お持ち帰りください
※自転車でのご来場はご遠慮ください (駐輪場に限りがあります。)

主催 高円寺地域区民センター協議会・杉並区障害者団体連合会
都合により内容が変更になる場合がございます。

定期総会開催のお知らせ

高円寺地域区民センター協議会の平成22年度定期総会を左記のとおり行います。お誘い合わせのうえ、ご出席ください。

議場日 4月27日(火)午後1時30分より
題所 セシオン杉並 3階 第8・9・10集会室

○平成21年度事業報告・収支決算報告
○会計監査報告
○会則の一部改正に関する件
○平成22年度事業計画(案)・収支予算(案)
○その他

高円寺地域区民センター協議会
会長 大久保 貢祐

文化部 協働講座



講演会
『富士山紀行』

講師：日本山岳協会 A 級コーチ・指導員
元 NHK 文化センター講師 **松永 敏郎**

日時：平成22年2月2日(火)
13:30 ~ 15:00

場所：セシオン杉並 (89名)

好評のうちに講演会が終了しましたが、詳細は次の172号に掲載いたします。

回																			
---	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

セシオン杉並まつり2010

■開催日 平成22年6月5日(土) 10時~16時
6月6日(日) 10時~15時

グループ発表・展示作品募集!!

会場	ホール	第1・2和室
日時	6月5日(土) 午前10時~午後4時	6月5日(土)・6日(日) 両日とも 午前10時~午後3時
持ち時間	30分準備・後片づけを含む	30分準備・後片づけを含む
募集团体数	8グループ	両日で6グループ

応募は、必ず往復はがきでお申込みください。申し込み多数の場合は抽選となります。
締切日=3月31日(水)【必着】
問合せ先=高円寺地域集会施設運営協議会事務局 ☎3317-6614

会場	作品展示 (1階/展示室)	グループ発表 (ホール、2階/第1、第2和室)	フリーマーケット (3階/8~10集会室)
応募資格	高円寺地域 (梅里1丁目・松ノ木2~3丁目、和田1~3丁目、堀ノ内2~3丁目、高円寺南1~5丁目、高円寺北1~4丁目) に在住、在勤の方で、「さざんかカード」に登録しているグループ		区内に在住、在勤、在学の方 (業者は不可)
日時	6月5日(土) 午前10時~午後4時 6月6日(日) 午前10時~午後3時	上の表を参照	6月5日(土) 午前10時~午後4時 6月6日(日) 午前10時~午後3時
展示方法 会場 スペース など	・展示方法 A壁(パネル) (3.6m×1.2m) 12グループ B机 (1.8m×1.35m) 6グループ C壁 (3.6m×1.2m) と机 (3.6m×0.45) 9グループ	・会場1グループでホール、第1、第2和室のいずれか1ヶ所 ・ホールは3年連続の出演は不可 ・出演順は一任させていただきます	・1区画/約2m×2m 各日16組 ・出店品目/食品、電化製品は不可 ★参加費/1000円
抽選・説明会	4月18日(日) 午前10時~	4月18日(日) 午後1時~	5月16日(日) 午後1時30分~
往復はがきの記載内容	高円寺地域区民センター「セシオン杉並」第8~10集会室(3階) ★応募者は必ず抽選・説明会にご出席ください。		
宛先	「セシオンまつり参加希望」と明記し、 ①グループ名 ②代表者名 ③住所 ④電話番号(日中連絡がつく番号) ⑤参加内容(詳しい展示作品、演目) ⑥作品展示は上記展示方法(A~C)のいずれか1つ、グループ発表は上記会場(ホールか和室)のいずれか1つ ★返信用にはご自分の宛名を記入		
	「フリーマーケット出店希望」と明記し、 ①住所 ②氏名 ③電話番号(日中連絡がつく番号) ④出店希望日 ⑤出店品目 ★返信用にはご自分の宛名を記入		
	〒166-0011 杉並区梅里1-22-32 高円寺地域区民センター 「セシオン杉並まつり実行委員会」		

次号172号 / 5月20日発行予定

自主グループ紹介

その⑥

セシオンカラオケ会教室

*会の活動状況

教室では、「明るく楽しく、魅力ある品の良い歌い方で上手になること」が目標です。月に1曲の新曲を課題曲として選び、歌いながら曲の紹介をした後、個人指導に入ります。その後自由曲を歌います。自由曲となると、さすがに皆さん上手く、情感をこめて歌っています。

本物の指導を心がけながら、皆さんが上達する喜びを共にすることが会の目的です。皆さんの練習の態度・努力、学ぶ姿勢の良さ、年齢を感じさせない若さで圧倒されます。今日の練習でこれだけ上手くなったという手ごたえがあると、それが目に輝きが出てきます。声を出して歌う、人前で歌う、人に見られていることが、張り合いになり、歌に味が出てきます。何事も下手よりも上手な方が良い。上手になれば、嬉しい楽しい、そして喜びとなります。

カラオケ会開講二十年の経験と実績をバックに、皆さんと勉強・研究を重ねながら楽しい会が運営されています。

*講師：国分 源吉

*代表者：加藤 英子

*連絡先：03(3311)1628
*場所：セシオン第二音楽室
*練習日：月3回(午後1時~4時)
*会費：2,500円/月
(講師謝礼及び運営費)

吼山流詩吟道 高南支部

*会の活動状況

教室での稽古は、一人ずつ好きな吟題(漢詩・和歌・俳句など)を吟じ、先生の指導を受けます。日ごろの成果の発表は、年1回の総本部吟詠大会やコンクール大会において行います。吼山流は、本年度創立76年を迎える全国組織の伝統ある流派です。当支部は、その一支部で、通常の稽古の他、吟行旅行や各種懇親行事を行い、親睦を深めています。

初めての方でも「基本いろは」による節調から始めますので、短期間で基本の習得が可能です。詩吟のポイントは、腹から声を出すことにあり、美声は必要なく、古来の聖人、学者、先覚者が時々の心情、志、美しい風景など言葉で書いた詩歌を、丹田から湧き出る晴朗で迫力ある声により詩中の人となつて表現するものです。腹から声を出す、その息づかいに意識を集中する。そのことは、演者の精神と肉体の高揚と安定に大いに資するものと思われれます。老若男女を問わず、広く同好の志を求めていますので、お気軽にご参加ください。

*講師：金杉 吼法
*代表者：金杉 吼法
*連絡先：事務局 井上 吼隆
03(3396)6366
*場所：セシオン杉並(第2音楽室)
*練習日：第2・第4火曜日
(午後4時~6時)
*会費：4,000円/月



吟詠コンクール大会入賞者表彰式

尺八玉風会

*会の活動状況

玉風会は、平成4年に創立して、今日まで一貫して琴古流外山玉風先生の薫陶を受けて、18年になります。先生は、故広門冷風に学び、その没後は横山勝也の直門となった逸材です。尺八の演奏や指導は、民謡、歌謡曲や古典本曲・外曲・現代本曲まであらゆる分野にわたります。



尺八玉風会練習風景

はじめは二音指導の合奏形式をとっていましたが、ただ楽しい時間を過ごすだけでなく、一人ひとりが独奏できる実力を身に付けるために、個人指導に切り替えてからすでに年久しくなりました。個人指導ですから、会員はほとんど初心者から舞台での尺八伴奏二十年を超えるベテランまでいます。定員は10名です。

尺八は腹式呼吸を基本とし、吸う、吐く、吹くがこの上ない健康法なのです。この東洋的な音の世界に共に心を遊ばせましょう。

*講師：外山 玉風
*代表者：岡 泉
*連絡先：03(5932)4845
*場所：セシオン杉並(第二音楽室)
*練習日：第1・第3火曜日
(午前10時~13時)
*会費：3,500円/月
入会金1,000円

文化部講演会より

『現代葬送事情』

小谷 みどり氏

厚生労働省の「人口動態統計」によれば、2008年亡くなった方(114.3万人)が、初めて出生数(110.8万人)を追い越した。今後もこの傾向は変わらず、2038年にはピークを迎え170万人に達すると予想されている。これからは長寿社会であると同時に人が多く亡くなる多死社会になってくる。このような中で最近葬儀に関する皆の意識が変わりつつある。今日は葬儀がどのように変わってきたか、また自分の死に際して何を考えておくべきかをお話する。

生前に考えておくべきこと

日本には「ぼつくり信仰」がある。しかしぼつくり死ぬことは難しい。2007年現在85%の人は病院で亡くなっている。今ぼつくり死ぬとしたら何をしておくべきであろうか。

(1)身辺の整理・少なくとも個人的な日記や写真の整理をしておくことが、残された人の整理のための負担を減らす。個人的な日記や思い出の写真を

は他の人には、始末に困るやっかいなものである。

(2)尊厳死の選択・病院で死ぬ場合の最大の問題は、尊厳死を選ぶかどうか(延命治療の要不要)である。延命治療の要不要は、本人が決めることだが、本人の意識が無い場合は家族に承認が求められる。家族は決定することが辛く、また延命治療の結果、本人も別人のようになる。家族や自分のことを考えるならば、尊厳死の旨を書類にしておくことである。

(3)葬儀の選択(家族葬、直葬、自分葬)・家族葬は10年ほど前から行われ始めたが、最近では直葬も20%30%を占めるようになった。亡くなる人が高齢になったこと、子供が定年を迎え、また親戚も少ないことから、必然的に家族葬になってきた。

最近自分らしい葬式をしたいという人が増えた。死に装束も洋服を着せることが多く、ウエディングドレスのケースもある。自分の好きな花に囲まれた葬式や自分の好きな音楽、生前録音した歌を流す葬式もある。遺影も大きくなり、自分が好きなピントの良くあつた写真を飾ることが多い。

自然に優しい葬送もある。木材資源を使わないタンボール製の棺も使われ始めた。

(4)葬儀の費用・葬儀の費用は、葬儀施行費用、宗教費用、飲食接待費用からなるが、葬儀施行費用は、葬儀社との打ち合せて決まる。人の話

を良く聴いてくれ、見積もりや相談に乗ってくれる所がよい、電話の応対などの判断が重要な要素になる。宗教費用は、菩提寺がある場合はその寺に従うことになる。菩提寺がない、遠いなどの場合は宗教に合わせて葬儀社が手配してくれる。飲食接待費用は、家族葬の場合は費用が少なく済む。

(5)墓、墓地の選択・日本では従来では長方形の先祖代々の墓であるが、墓石の形も変化している。ピアノ型墓、高さの低い墓、樹木に囲まれた墓らしくない墓などもある。最近では都民なら入れる墓など血縁を越えた合同墓地もある。

(6)お墓に入らない選択・海や山、島などへの散骨や手元供養などがある。骨を小さな地蔵型の中に治めて家に置いたり、骨を溶融して宝石のように加工して持つ手元供養も行われている。

埋葬に関する法律

(1)死後24時間以内の火葬、埋葬の禁止・何日までという規定はない。火葬・埋葬までの間、通常ドライアイスを使用するが、最近ではエンバミング(死体から血を抜いて処理する方法で1ヶ月程度は問題ない)処理が用いられることがある。

(2)死亡届・死亡から7日以内に、死亡診断書または検索書を添付して届け出る。

『現代葬送事情』



(3)遺骨の埋葬、埋蔵・遺骨の埋蔵、埋葬は、墓地に限られる。しかし土をかけない散骨の場合は許される。

(4)位牌財産の継承・誰か1人が継承する。継ぐ人がいない場合は無縁墓になる。最近無縁墓の判断基準(官報への公告、墓への掲示1年間)が簡単に行えるようになり、撤去される例が多い。

以上人の死と最近の葬儀状況について話したが、死が避けて通れないならば、死について早めに考えておくことが望ましい。終末医療のこと、最後の過ごし方、お葬式に誰が来て欲しいか、何処でお葬式をするか、形見分け、遺影の撮影、遺産の処分方法などを考えておくことが必要である。

(株)第生命経済研究所
ライフデザイン研究本部主任研究員